

理科実験やサッカー教室

学童保育で習い事

新渡戸文化小学校（東

京・中野）は、特定非営利活動法人（NPO法人）と連携し、習い事やスポーツを教える学童保育サービスを始めました。平日の放課後に理科実験やサッカー教室など多岐にわたるプログラムを用意。放課後の児童を安全に預かり、共働きの保護者を支えると同時に、高い教育

新渡戸文化小学校は専用の校舎を新設。プログラムは児童の課外活動を支援するNPO法人「放課後NPOアフタースクール」（同・港）が準備する。例えば料理教室は、宅配大手から講師を招いて実施するなど、外部から様々な分野の専門家を呼んでプロ

私立小とNPO連携 専用校舎を新設、講師招く

プログラムを設定する。同NPOの平岩国泰代表理事は「実際に体験することで子どもは吸収する」と話す。

同小の児童276人のうち低学年を中心に80人以上が登録する。費用は週5日の利用で月3万4万円。同小学校を運営する学校法人新渡戸文化学園の豊川圭一理事長は「同じような取り組みが広がり、安心して働く女性が増えれば」と話す。